

# 平成29年度農業経営アドバイザー活動推進協議会総会 で出された主な質問・意見に対する回答

参考資料6

番号	質問者等の属性	質問・意見の内容	質問・意見に対する回答
1	来賓	○ アドバイザー活動事例の中に農業情報学会を地方に誘致した事例があるが、ICTの活用は重要である。このアドバイザーはその後どのような活動をされているのか。	○ 県内の国産アボカド苗生産の生育管理等において、センシングやICT等の活用が有用であることから、学会開催後も継続して、アドバイザーが仲介して学会会員と農業者は意見交換している。またアドバイザーが仲介して学会開催時に開催される「食のアカデミー」という地方農産物の展示試食会に県内農産物を出品している。
2	参画団体(金融機関組織団体)	○ 金融機関がアドバイザーを紹介する端緒を教えてください。	○ 金融機関では農業者から経営課題をよく聞き取り、その課題解決に対応できるアドバイザーを選んで紹介をしている。
3	参画団体(審査会)	① アドバイザーの見える化が図られているが、農業者はパソコンやスマホを介してより、懇親会を含めた直接接触を望むことが多い。農業者とアドバイザーが直接会える機会を増やしてもらいたい。 ② 農業の情報提供は縦割りでいろいろな機関から行われる。まとめて話を聞ける場を行政サイド主導でつukれないか。聞く方も法人協会とかJAでなくオール農業界で聞けるとよい。	① 公庫支店に対して、各都道府県のアドバイザー連絡協議会(以下「連絡協議会」)の活動の中で、農業者とアドバイザーを引き合わせる場を設けるように、事務局から提案するように指示している。 ② 公庫だけでなく農水省をはじめ関係機関で解決していく内容であり連携して検討していく。

# 平成29年度農業経営アドバイザー活動推進協議会総会 で出された主な質問・意見に対する回答

番号	質問者等の属性	質問・意見の内容	質問・意見に対する回答
4	協議会(役員)	<p>① アドバイザーが積極的に活動できる仕組みやシステムを作ってほしい。現場のコンサルはアドバイザーでない人もやっているが、(農業経営に知見を有する)アドバイザーがより有効に活用されるようにすべきと思う。</p> <p>② 都道府県段階の連絡協議会に予算をつけて任せてほしい。会費を徴収してもよい。</p> <p>③ 経営分析の仕方は地域で違いがある。分析のやり方や分析データについてアドバイザー間で共有できるようにしてほしい。</p>	<p>① 公庫としては、農水省と連携して法人化推進体制に連絡協議会が参画できるように働き掛け、アドバイザーが法人化支援等に関与できるように進めている。また農業経営塾の取組みが全国21県で進んでいるがアドバイザーがその講師等に派遣されるよう県等に働き掛けている。その他、地方自治体と連携してアドバイザーが積極的に活動できるように推進していく。今後農業者とアドバイザーを引き合わせる場が連絡協議会の活動の中に設けられていけば、積極的な活動が推進され则认为している。</p> <p>② 支店では連絡協議会と打合せて年間の活動計画を作り、必要経費については本店から予算を配賦している。ぜひ事務局に対してご提案を頂き積極的な活動が実施できるよう協力をお願いします。</p> <p>③ 毎年開催されるアドバイザーミーティングで活動事例報告を実施し、アドバイザー間の共有化をしている。その他、活動実績報告等から優良事例を取りまとめて提供したい。</p>
5	協議会(役員)	<p>○ 金融機関職員や普及員のアドバイザーは、組織に属しながら組織の業務としてアドバイス活動をしており、その活動が見えにくい。アドバイザーの見える化を進めるに当たり、連絡協議会の名前で県の会合に参画して活動できるようになるとこれらの方が所属に関係なくアドバイザーの活動が見える活動になると思う。</p>	<p>○ 連絡協議会の運営として指摘された内容を参考に、アドバイザーが連絡協議会の活動に積極的に関わる機会を設けるよう、事務局として公庫からも働き掛けていきたい。</p>

# 平成29年度農業経営アドバイザー活動推進協議会総会 で出された主な質問・意見に対する回答

番号	質問者等の属性	質問・意見の内容	質問・意見に対する回答
6	参画団体(金融機関組織団体)	<p>① 銀行ではアドバイザー制度について農業関連の知識習得だけでなく、農業者との信頼関係の構築という意味でも有効な資格と認識している。</p> <p>② アドバイザー研修・試験について、地方開催とか、研修の一部についてインターネット講義とか地方在住者の利便性を考えて改善してほしい。</p> <p>③ 資格更新の際に活動実績報告に替えて現場実習とか更新後の実効性を高めるために農業経営の現場に近い感覚を養えるような工夫を検討してほしい。</p> <p>④ すそ野を広げるため導入編として初級アドバイザー(通信教育)の検討はできないか。</p>	<p>① 金融機関の期待に応えられるように制度の充実を図りたい。</p> <p>② 地方在住者の利便性について、資格更新については各道府県の連絡協議会で資格更新の要件を満たすミーティングの開催ができるようにした。研修・試験については、厳正さを確保する必要があるなかなか課題が大きく、今後の検討課題とさせていただきたい。</p> <p>③ 資格更新の審査に当たり活動実績報告は重要なポイントであり欠かせない。農業経営の現場に近い感覚を養うことは大切であるので、連絡協議会の活動の中で機会を設けるよう工夫したい。</p> <p>④ 基礎的な知識を身に着けるためには「アグリビジネスに強くなる講座(J-PAO監修)」や「農業融資講座(農林中金アカデミー)」など既存の通信教育が用意されており、それらで対応してほしい。必要ならば紹介する。</p>
7	参画団体(審査会)	<p>① そこに行けば様々な相談が受け付けられ、相談先を振り分けてもらえる窓口が必要、一般の人を含め、誰にでも明確に分かるようにできないか。</p> <p>② 上級アドバイザーの更に上のアドバイザー、弁護士のように士業としてビジネスになるようなエリートアドバイザーが必要。ぜひ検討を。</p>	<p>① 本意見については、No. 3と同様に、公庫だけでなく農水省をはじめ関係機関で解決していく内容であり、連携して検討していく。</p> <p>② 今後の検討課題とさせていただきたい。なお公庫としては現在のところ有資格者の活動を活性化することに重点を置いて取り組んでおり、このなかでご要望に応えるようにしたい。</p>